

ふしみさらダボール子育て情報



「基本的な生活習慣」
令和6年7月10日号
板橋富士見幼稚園



躰と押しつけ

乳幼児において、基本的な生活の習慣を身に付けさせる時期は、いつ頃でしょうか。

躰【しつけ】とは、排泄や片付け、生活のリズム、身の衛生観念、所持品の片付けなどを習慣として身に着けると共に、良いことや悪いことの規範や道徳も含まれます。

つまり、人間として社会での営みに必要な約束ごとや決まり・ルールなどを、幼少期から親や保育者が学ばせる行為のことを指します。では、このような沢山の社会マナーは、いつ頃から教えはじめたら良いのでしょうか。多くの専門家は、その時期は、2歳になった頃に見られるある行為を確認した時です。

それは、ご家庭で掃除機でお部屋の掃除をしているときに、「〇〇（自分）もやる」「てっだう」「かして」と言ったり、洗濯ものを取り込んだときに、「おてっだいです」「やりたい」などと言ったりして、模倣したがる姿が見られたときです。ここが躰の始まる時期と提言しています。

つまり、2歳頃から、親が日々生活する行為が手本となるのです。つい心に負けて赤信号を渡ったり、洗濯物をたたまず取り込んだままにしたり、子どもの前で喧嘩したりなどの姿を子どもの前で見せてしまうと、子ども同士でも喧嘩したり、片付けるべきものを片付けなかったりと、子どもの規範を惑わせてしまいます。

特に挨拶や礼儀などは、親が手本となって躰る大切な社会マナーです。子どもが躰の時期を迎えたら、周りの大人は「押しつけ」にならないよう、まずは社会的に正しいとされる生活を心がけることを大切にしたいですね。

【夏野菜の収穫】

春から育ててきた夏野菜が、収穫の時期を迎えています。キュウリは塩もみしたり、IHコンロを使って炒めたり、醤油・塩・味噌などの調味料を使い、様々な方法で味わうことを楽しんでいます。

